

指定管理者実績評価シート

1. 基本情報

施設名	リフレッシュプラザ柏		
設置目的	南部クリーンセンターのごみ焼却の余熱を利用した余熱利用型健康増進施設であり、市民の交流・学習・健康増進・憩いの場の提供を目的としている。		
指定管理者	名称	柏ウェルネスパートナーズ	
	所在地	埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2	
	その他	※指定管理者が共同企業体の場合は、構成団体名を記入 代表者：株式会社クリーン工房 構成員：株式会社セイカスポーツセンター、京葉産業株式会社	
指定期間	令和3年4月1日～令和9年3月31日（4年目）		
施設所管課	都市部	公園緑地	課

2. 評価 ※ 指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※ 施設の特性に沿って、市が指定管理者に何を求めるのか、それを評価するために適切な評価項目を必要に応じて追加。

※ 評価に対するコメント欄は、市が指定管理者に求める運営内容に対し、どのような結果であったかという視点から、全ての評価に対してコメントを記入。

項目	内容	評価	評価に対するコメント
施設管理・運営	維持管理	C	電気設備点検にて、6項目中2項目が予定回数の実施なし（受変電設備点検、電話交換機設備）
	安全管理・危機管理	B	施設の危機管理マニュアルが整備されている。
	職員体制	B	適正に実施されていた。
	職員の育成	B	概ね適切に実施されていた。
	運営体制	B	マニュアル等を作成し、体制が構築されている。
		B	委託先業者と連携し、適正な施設管理を実施されていた。
	自主モニタリング	B	定期的なアンケートを実施し、施設改善に努めていた。
サービスの質の向上	施設の利用実績	B	指定管理事業についての目標人数は達成されている。
	実施事業の質の向上	A	自主事業のレッスンプログラム等について参加者多く黒字運営している。
	利用者への対応	B	利用団体の抽選実施等、平等な利用の確保に努めていた。
	利用者満足度	B	アンケート等での不満件数は少ない。
	情報の発信	B	H PやS NS等によるこまめな情報発信を実施した。
	地域等との連携	B	意見交換会等を実施し、次年度に向けてマネジメント等の構築に取り組んでいる。
効率的な管理	収支決算状況	B	大幅な相違はない。
	利用料金の徴収	B	利用区分に基づき適切に徴収されていた。

その他	雇用関係	障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。	B	適切に雇用され配置されている。	
		市内在住者の雇用確保が図られているか。	B	積極的な市内在住者の雇用が図られていた。	
		雇用保険や労災保険には加入しているか。	B	必要な保険に加入されている。	
		最低賃金は確保されているか。	B	適切な賃金体系を確保している。	
市内産業の振興		市内産業の振興への配慮はされているか。	B	適切に配慮されている。	
環境保護		環境基本計画、地球温暖化対策の実現に取組んでいるか。	B	グリーン商品の積極的な導入が図られていた。	
法令遵守		法令等は遵守されているか。	B	法令等を遵守し、施設運営を行っていた。	
個人情報保護 情報公開		個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。	B	適正に管理されていた。	

【個別評価項目の点数換算】

A(優良) : 8点 B(適正) : 5点 C(課題有) : 2点 D(要改善) : 0点

総合評価	B(適正)	(合計点 : 115 点) (得点率 : 79 %) ※小数点以下、切捨て (満点 : 145 点)
総評		収支決算状況について、昨年度より利用料金及び自主事業による収入が増加している一方で、支出額が計画時より大幅に増加している。 施設管理面において、電気設備点検回数に一部予定回数に満たない項目があった。サービス提供を円滑に行う計画に基づく

【総合評価の算出方法】

A	優良	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が85%以上 かつ すべての項目においてB評価以上 評価項目【施設管理・運営】及び【サービスの向上】の各区分においてA評価があり、当該2区分におけるA評価が4項目以上
B	適正	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が75%以上 かつ D評価がなく、C評価が1項目以下
C	課題有	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%以上 かつ D評価が1項目以下
D	要改善	該当する各評価項目の最大値（満点）に対する評価の合計値の割合が40%未満 または D評価が2項目以上

3. 課題解決の結果 ※ 事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を、いつ頃どのように改善したか等を記入

【事業年度とその前年度からの課題】
事業計画（収支計画）や事業報告書の内容について、募集時の仕様書や協定書の内容を満たすよう一部を改善すること。アンケートについて分析結果を報告すること。光熱費高騰による赤字が見込まれるため、可能な限り効率的な運営をし収支の改善に努めること。
【課題への対応結果】
自主事業や地域イベント等の開催により、収支改善及び地域活性化への努力が見受けられ、昨年度と比較し、利用料金及び自主事業費に係る収入を増加させている。 アンケートの分析結果について報告を確認できたが、事業報告書の内容には改善の余地があると考える。

4. 次年度の管理運営に向けた課題

※ 次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

今後も人件費や光熱水費の高騰による赤字が見込まれるため、利用者満足度の向上を通じ、さらなる利用料及び自主事業による収入増加が求められる。また、効率的な運営により支出を減少させることも必要と考える。 また、利用者の要望が多様化している中で、様々なニーズに柔軟に対応することが求められる。

5. 労働条件審査の結果

※ 審査結果の総評を記入

一部改善事項があるが、概ね適切に運用されていることを確認した。
